

バイオフィードバック楽器 演奏とウェルビーイング

長嶋洋一(静岡文化芸術大学)

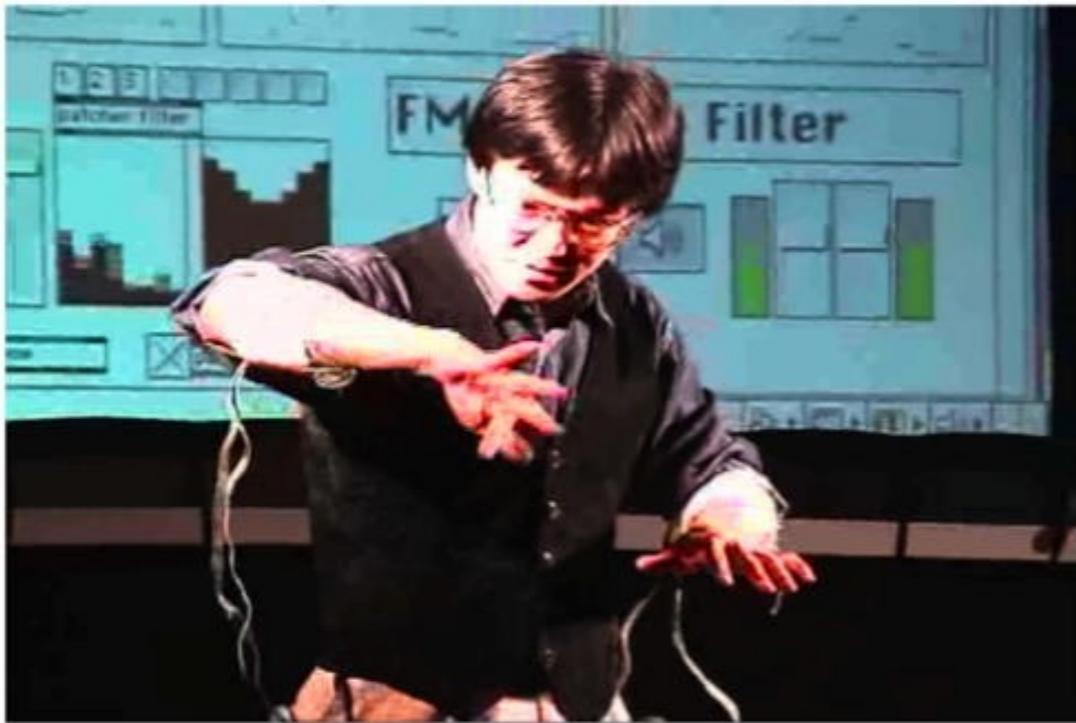
Well-Being

Affective

Cognitive

Subjective

Kassel, Germany 2001



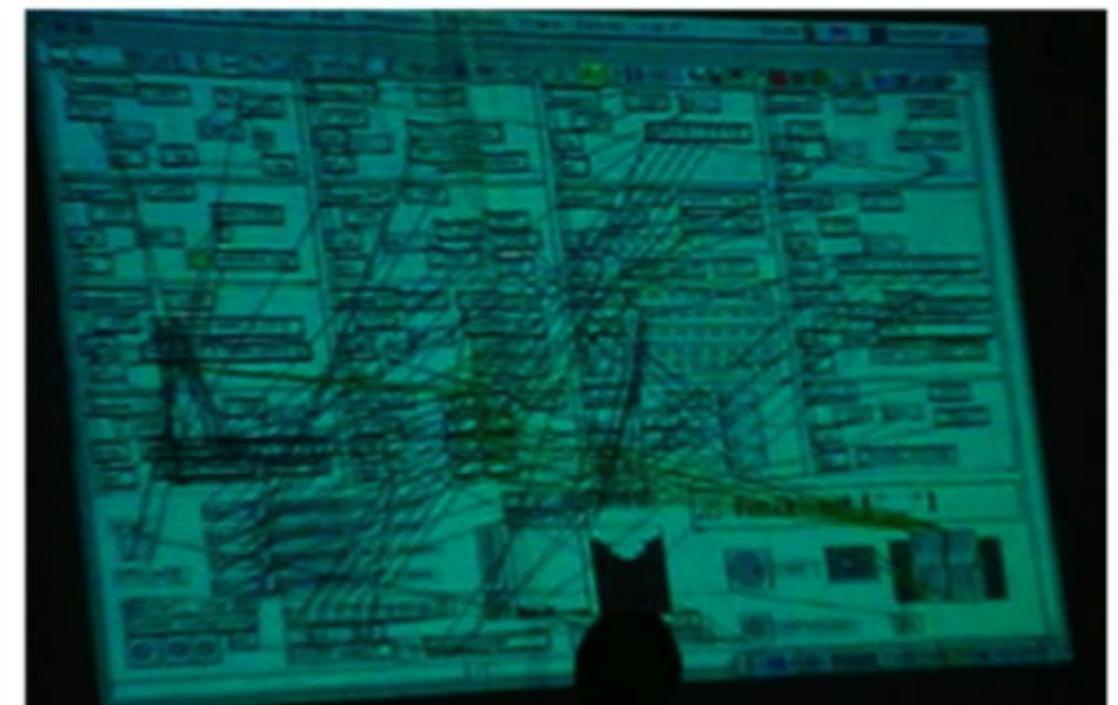
Montreal, Canada 2003



Amsterdam, Netherlands 2004



Paris, France 2004



背景 - 筋電楽器パフォーマンス

Vancouver, Canada 2005



Taipei, Taiwan 2007



Yekaterinburg, Russia 2010



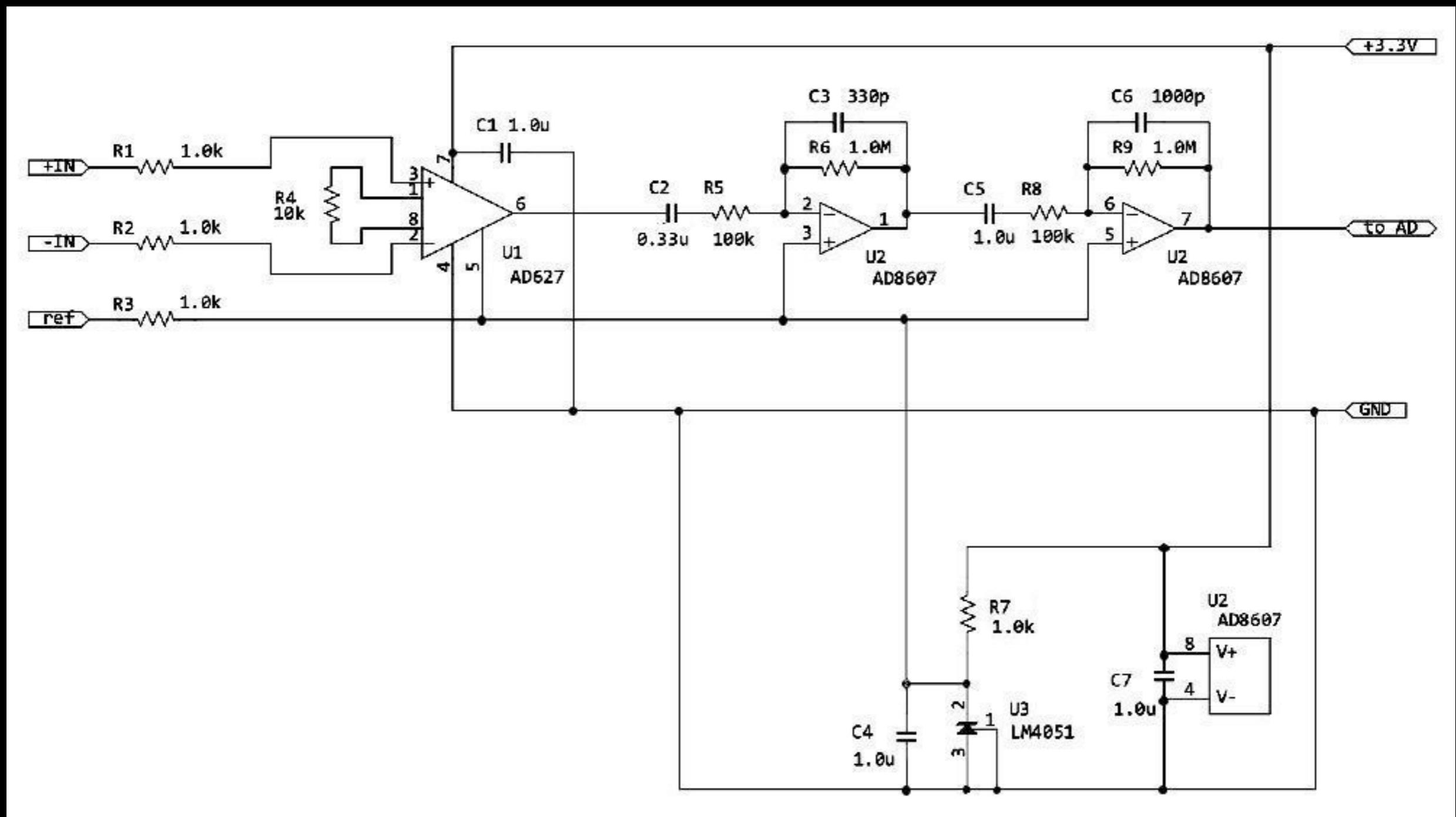
Oslo, Norway 2011



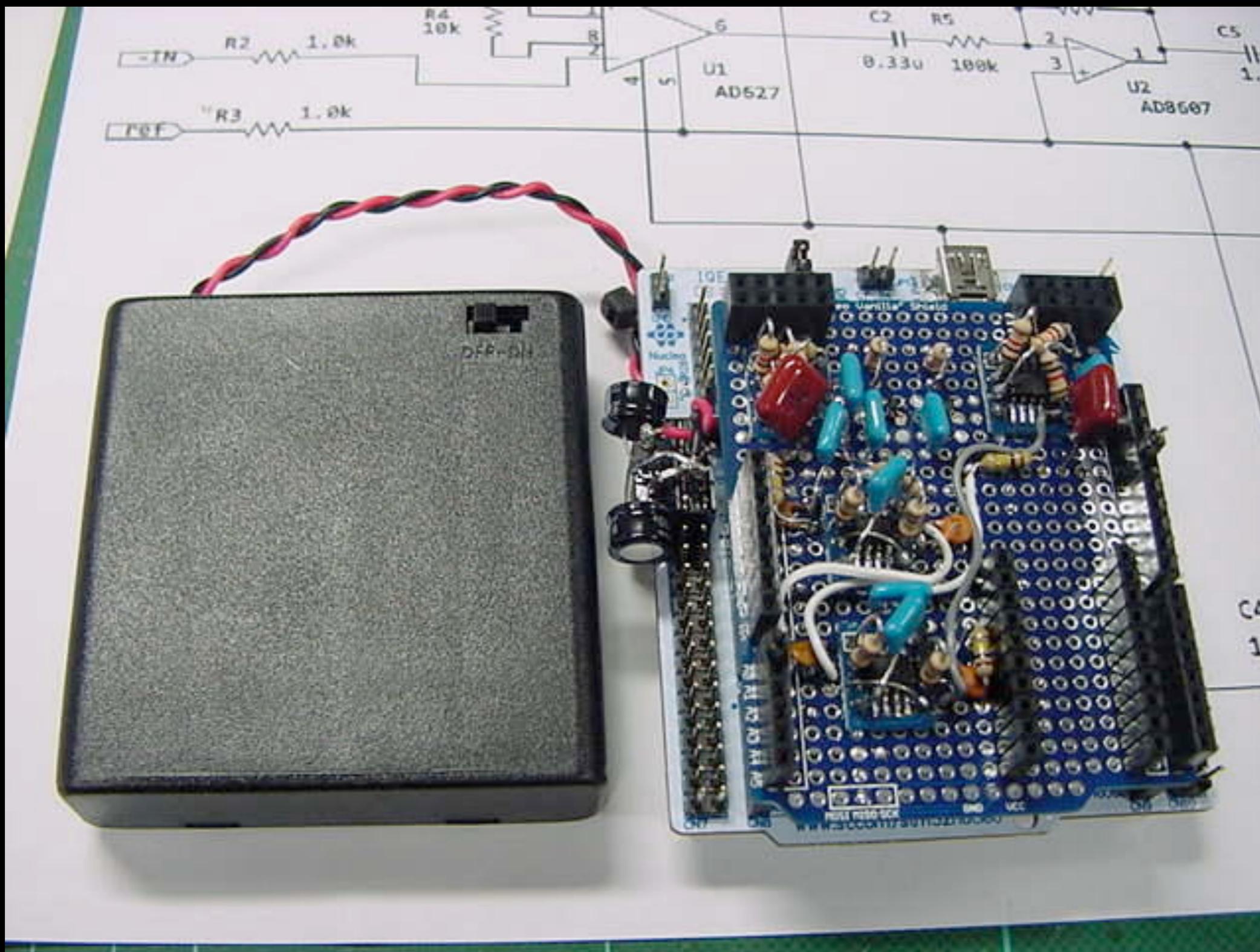
背景 - 筋電楽器パフォーマンス



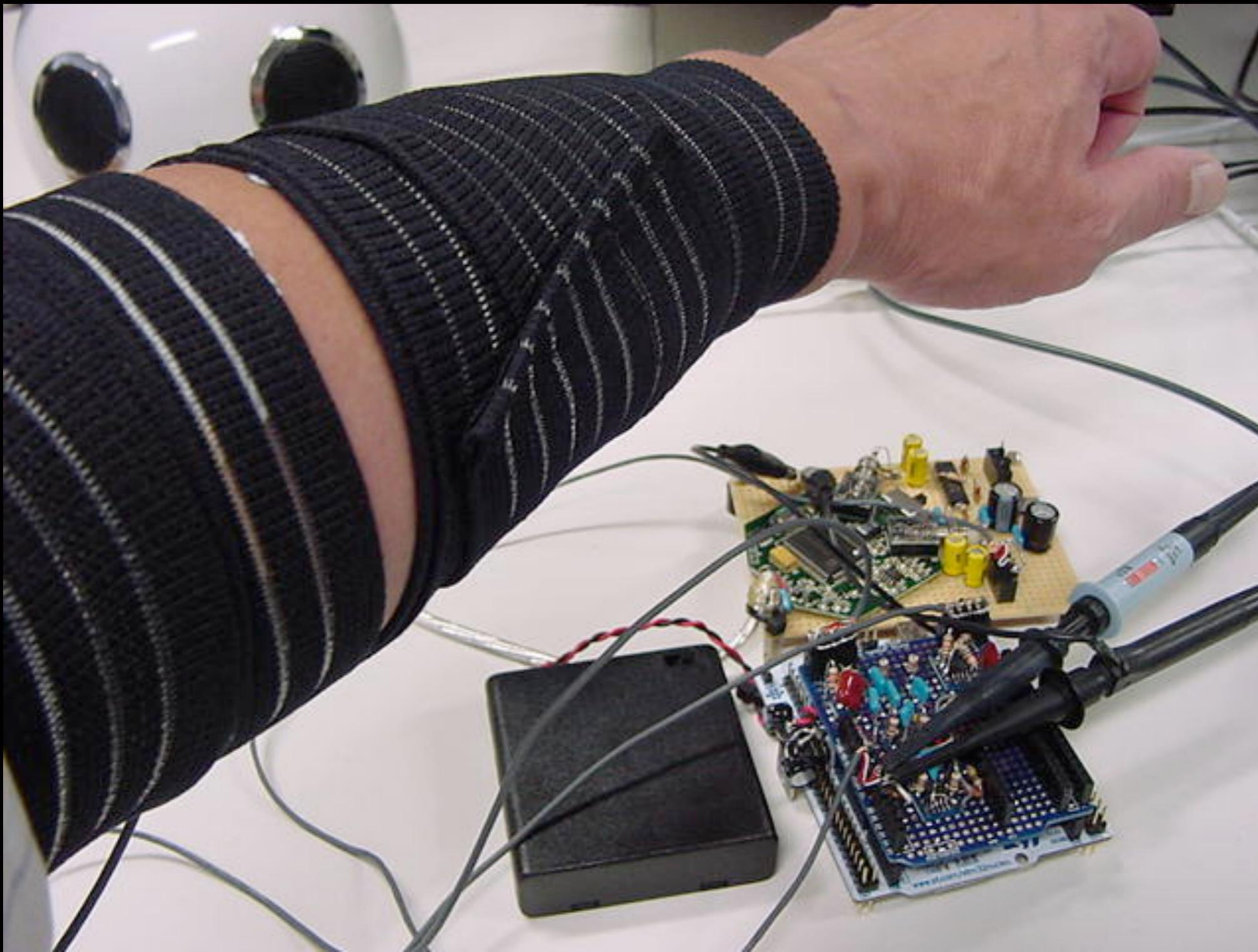
背景 - CQ出版「インターフェース」2015年4月号



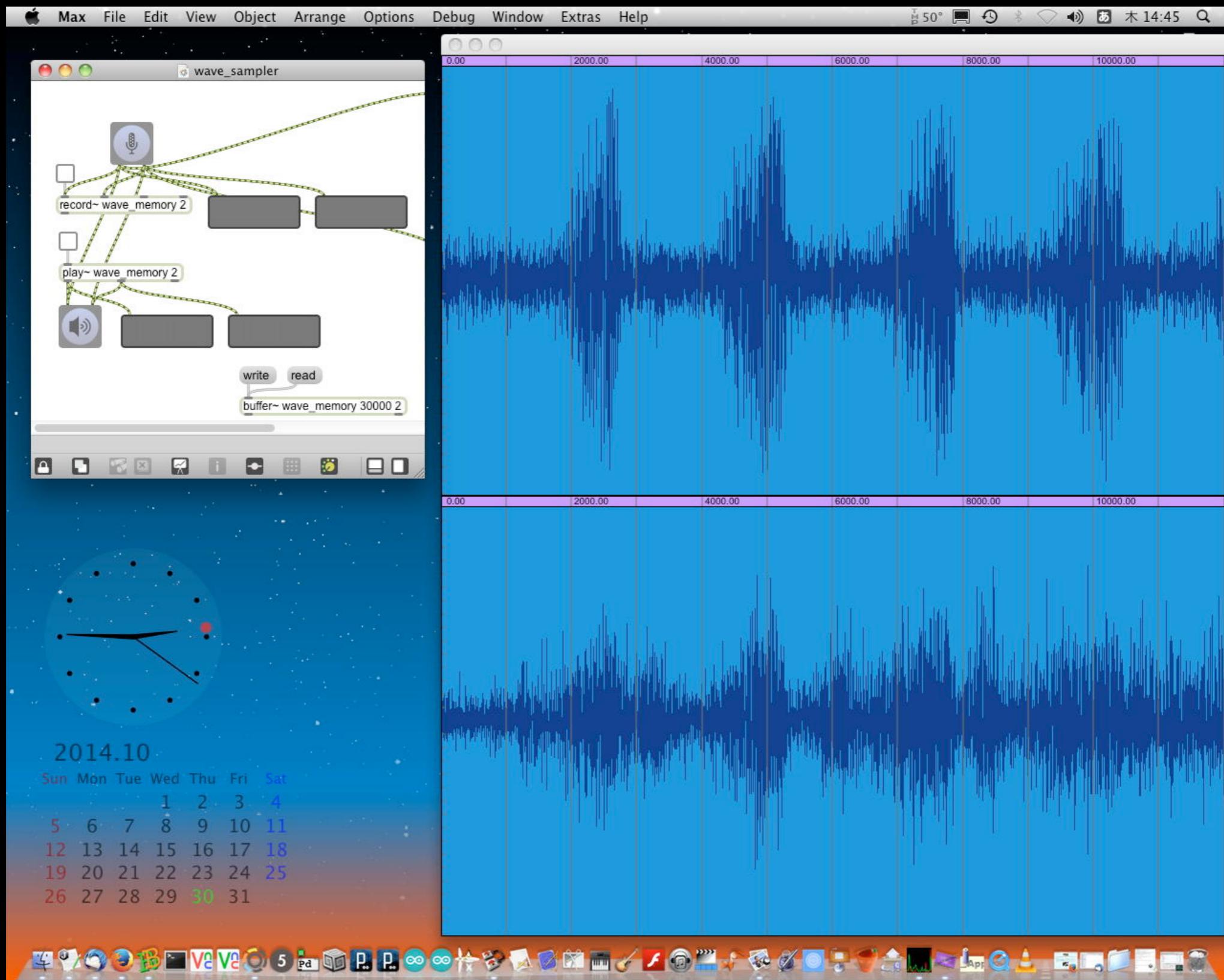
第5世代オリジナル筋電センサ回路



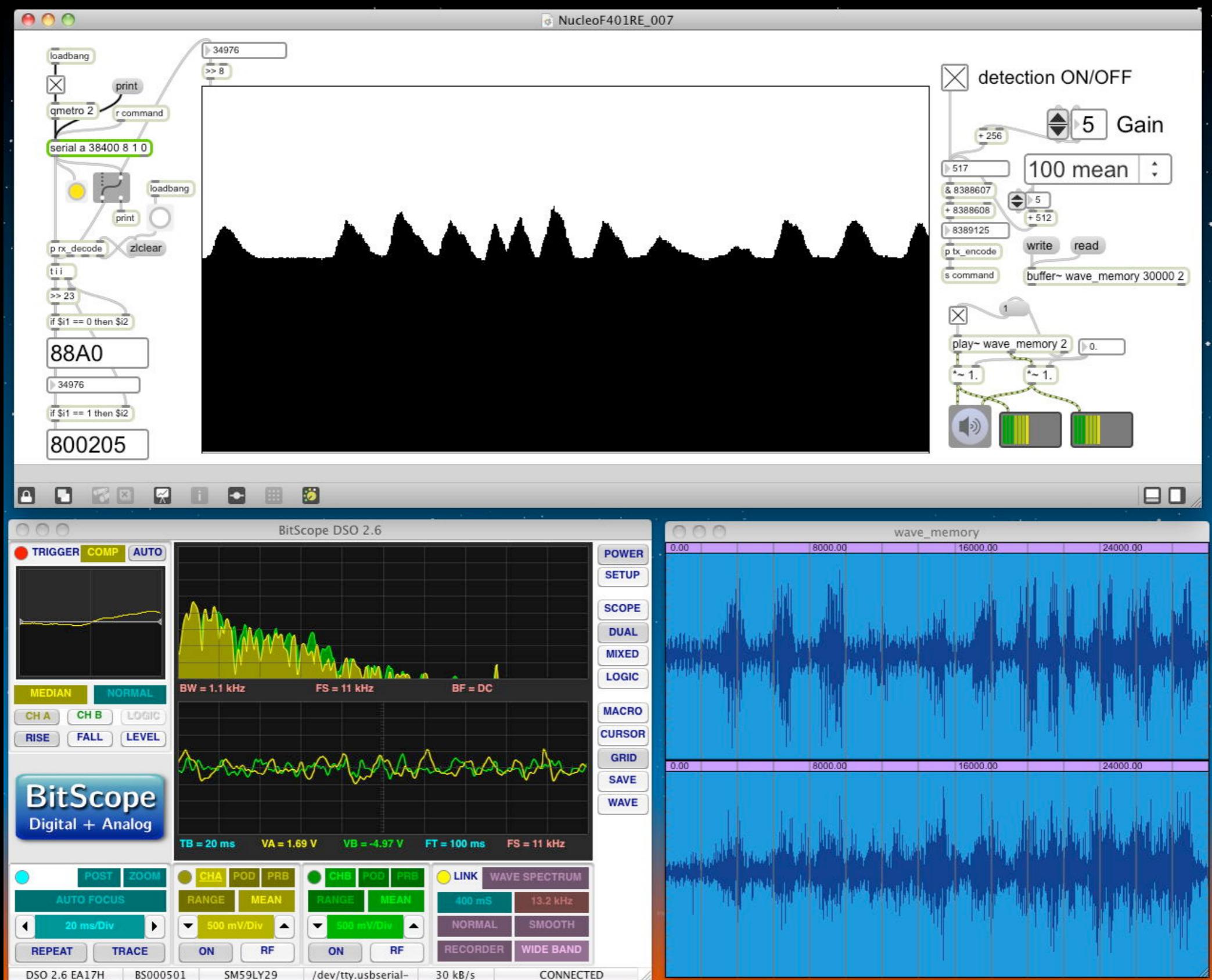
第5世代オリジナル筋電センサ



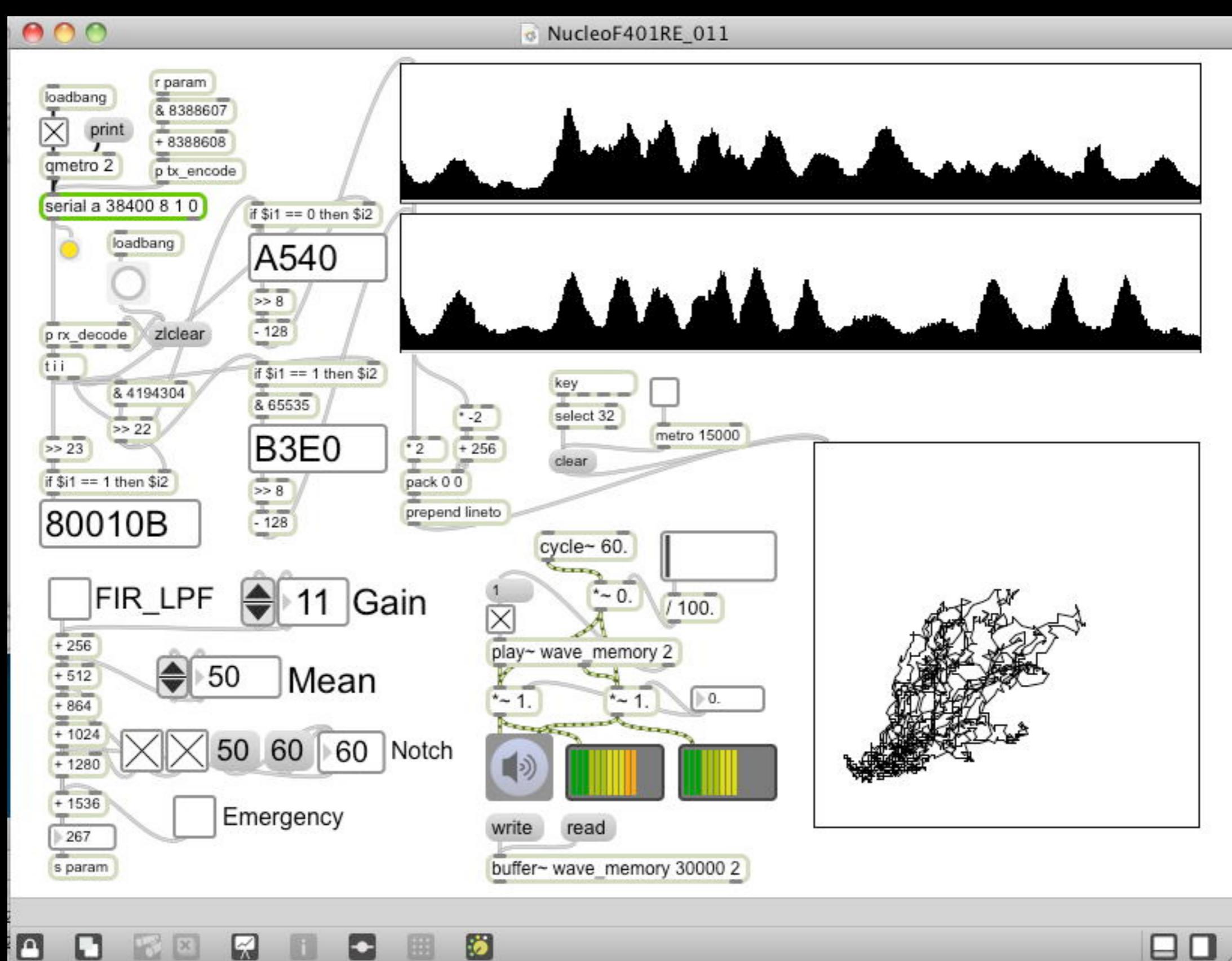
第5世代オリジナル筋電センサ



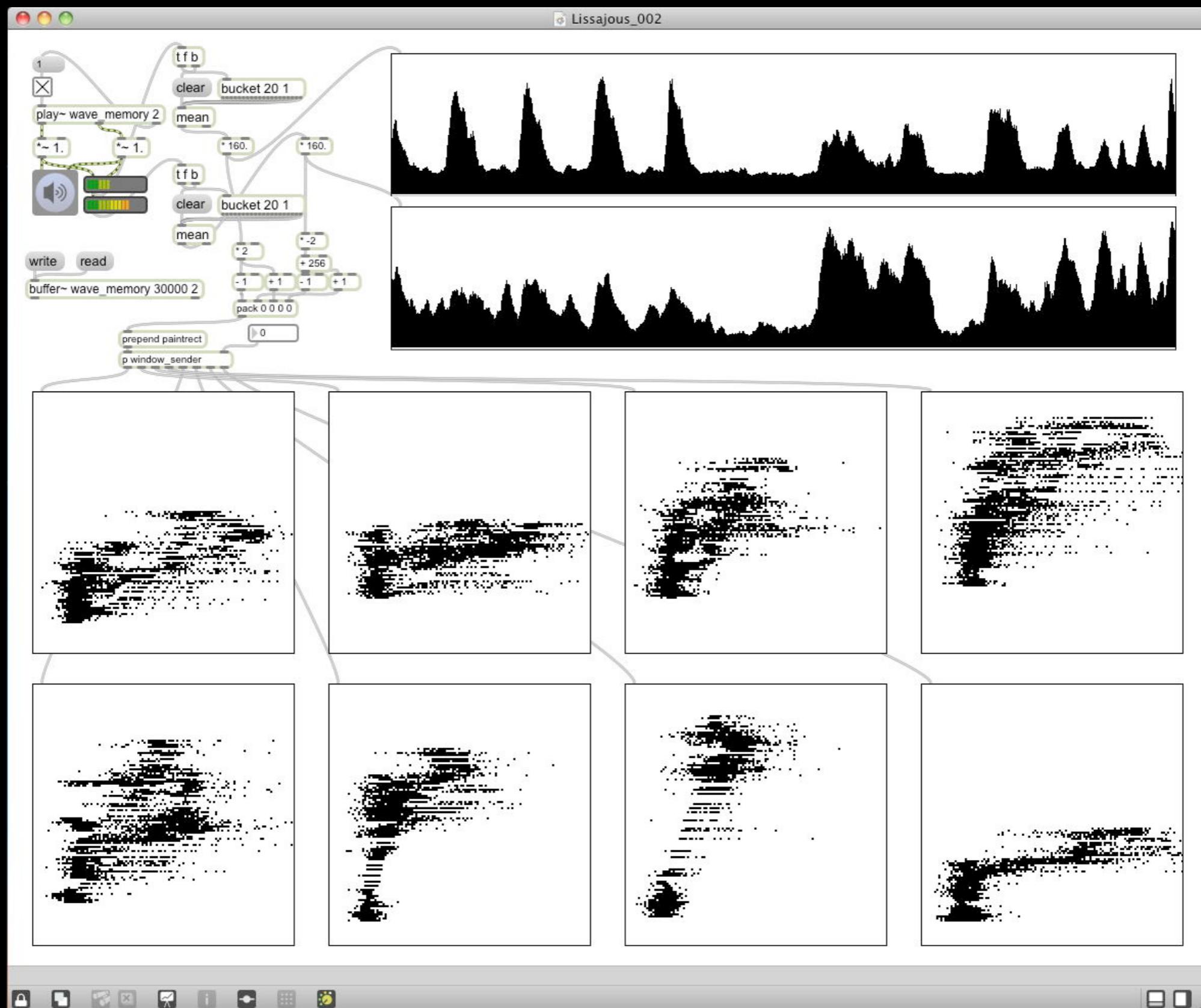
第5世代オリジナル筋電センサ



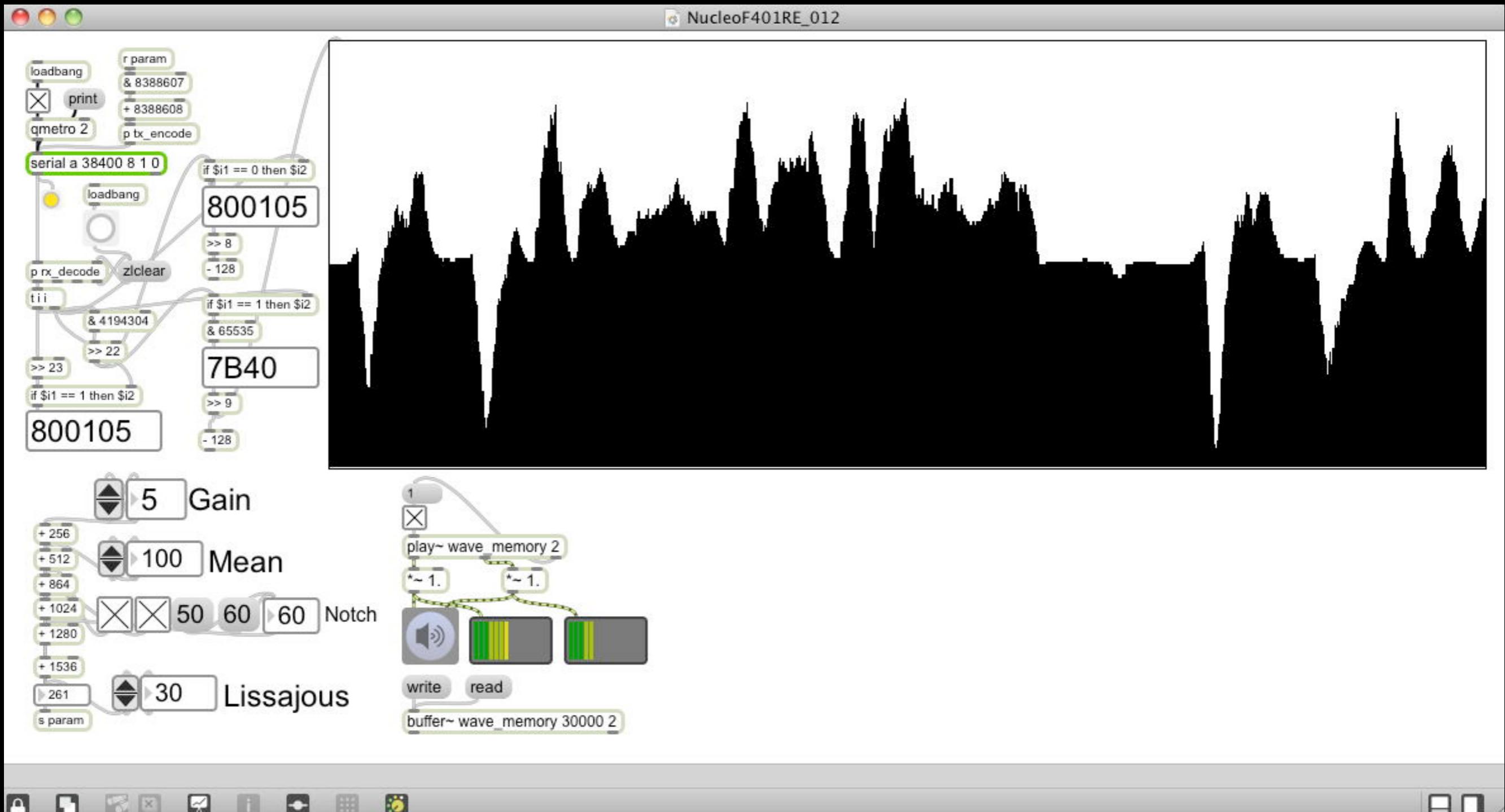
第5世代オリジナル筋電センサ



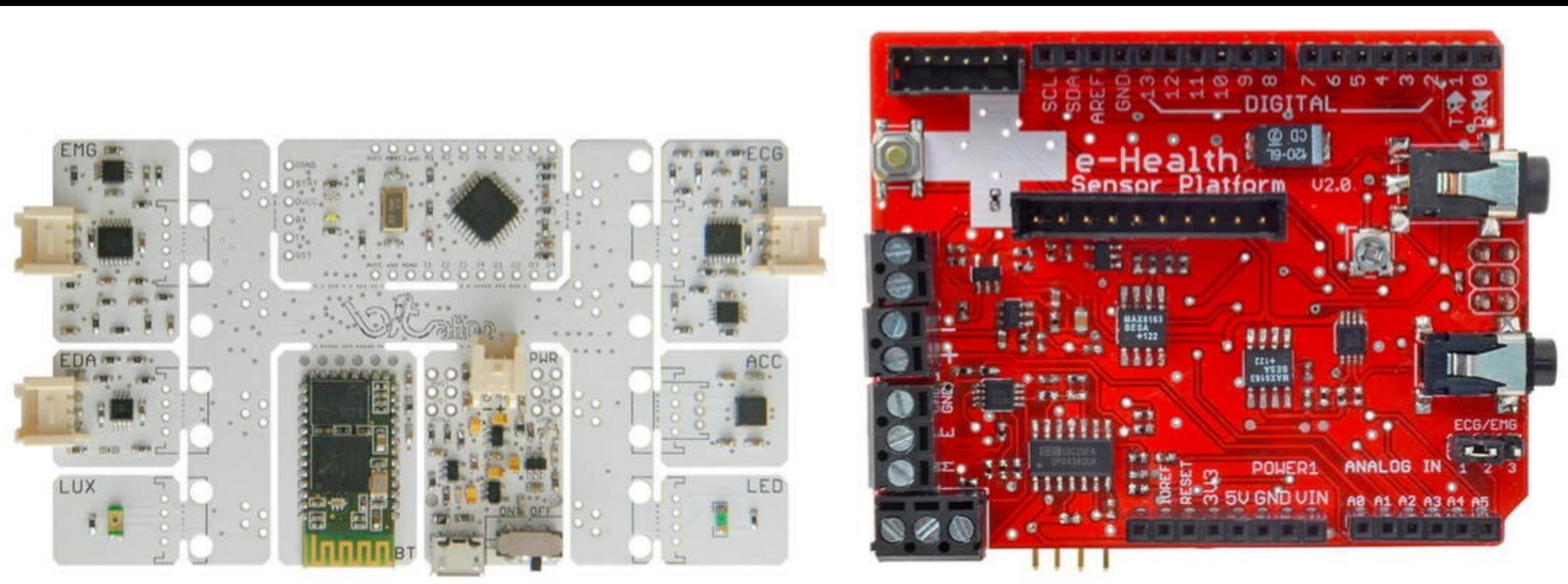
「リサジュー解析」の実験



「リサジュー解析」の実験



「リサジュー解析」の実験



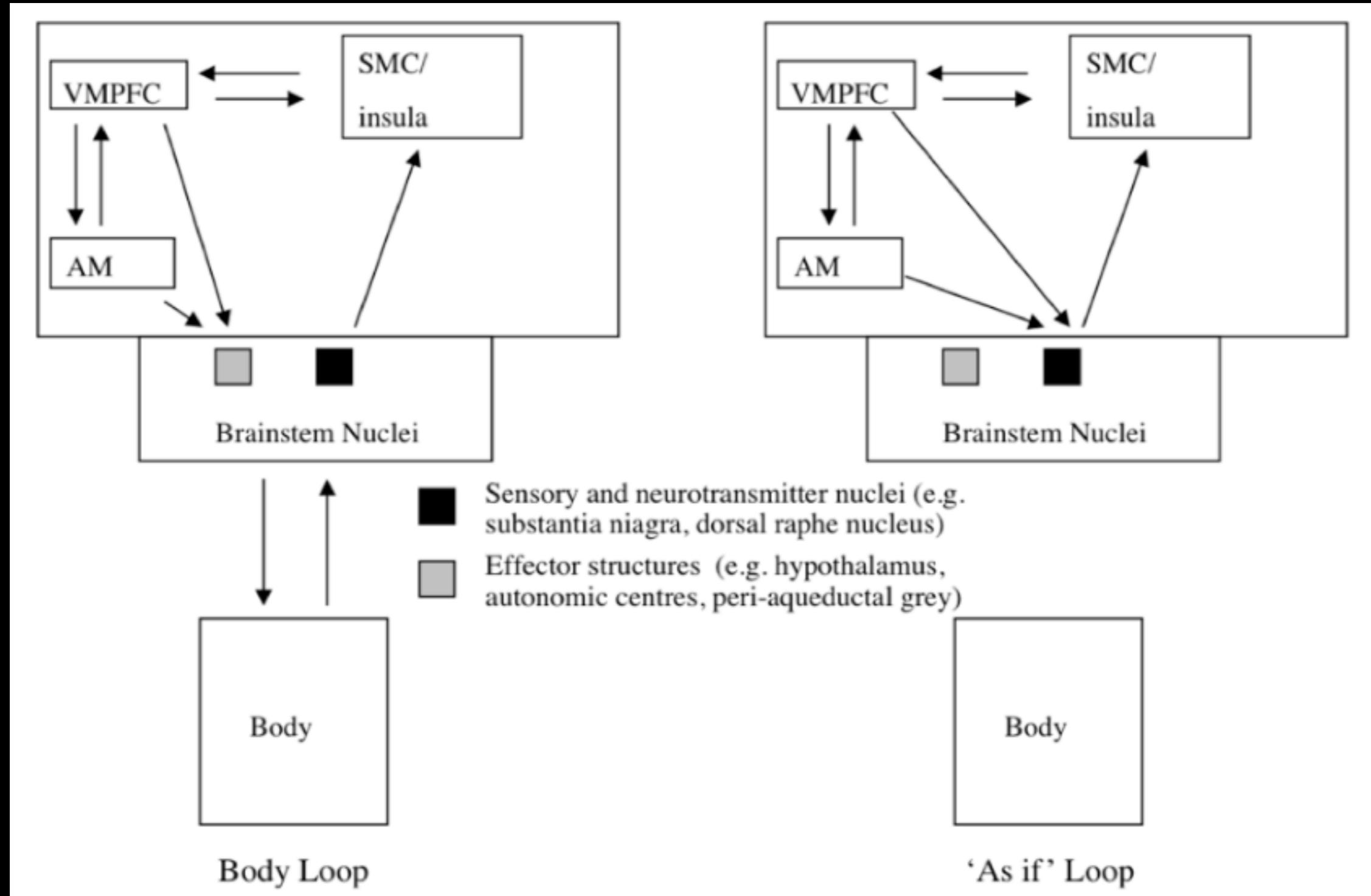
Bitalino と e-Health



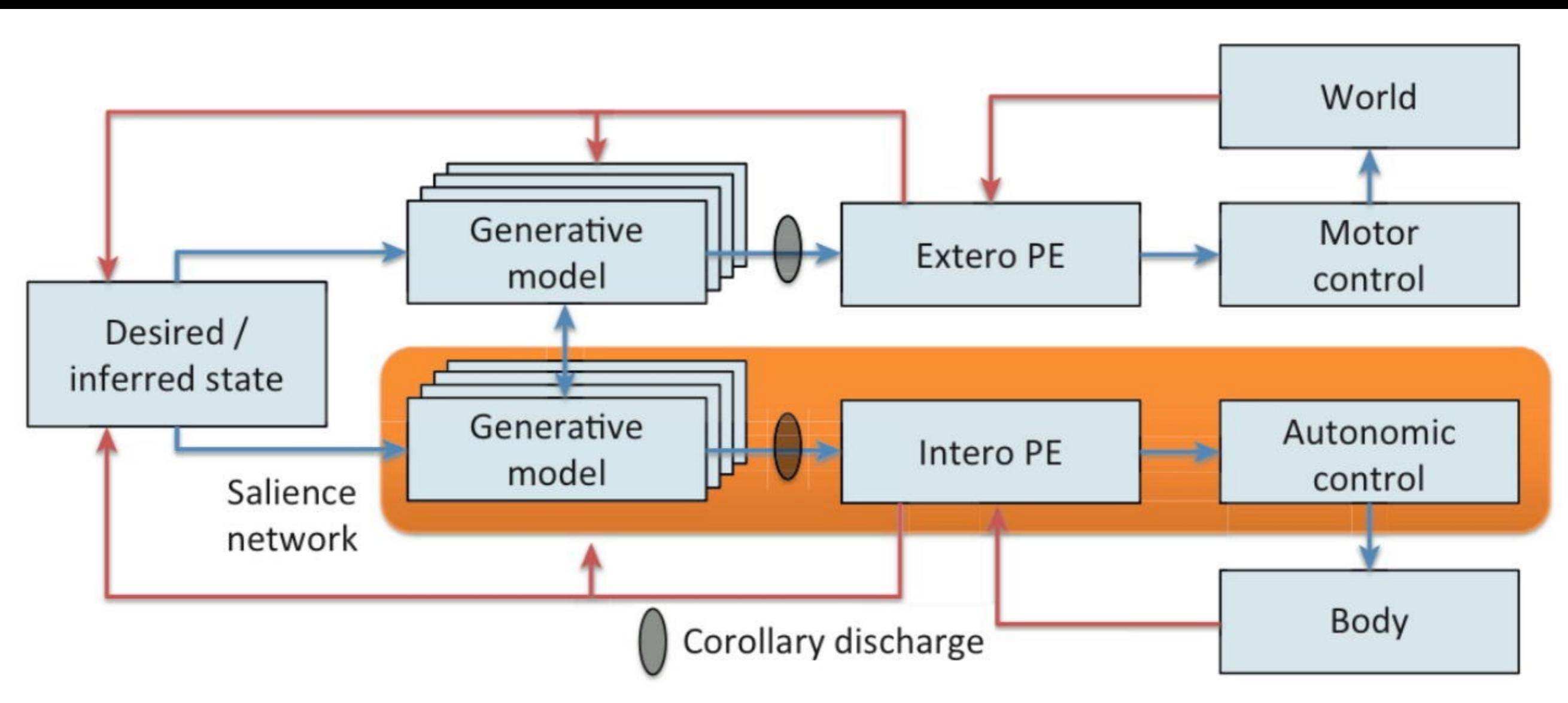
Myo



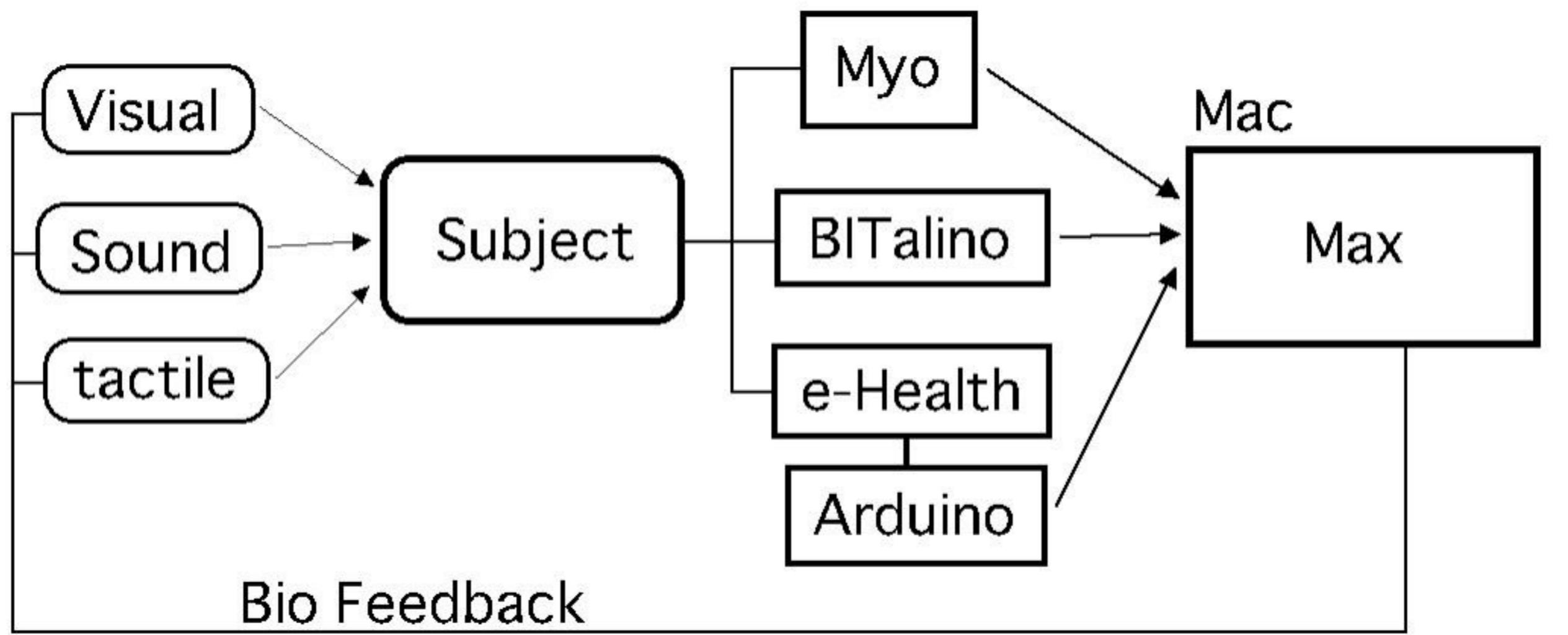
筋電ジェスチャ認識システム



Somatic Marker Hypothesis (Damasio)



内受容感覚のモデル(Heth)

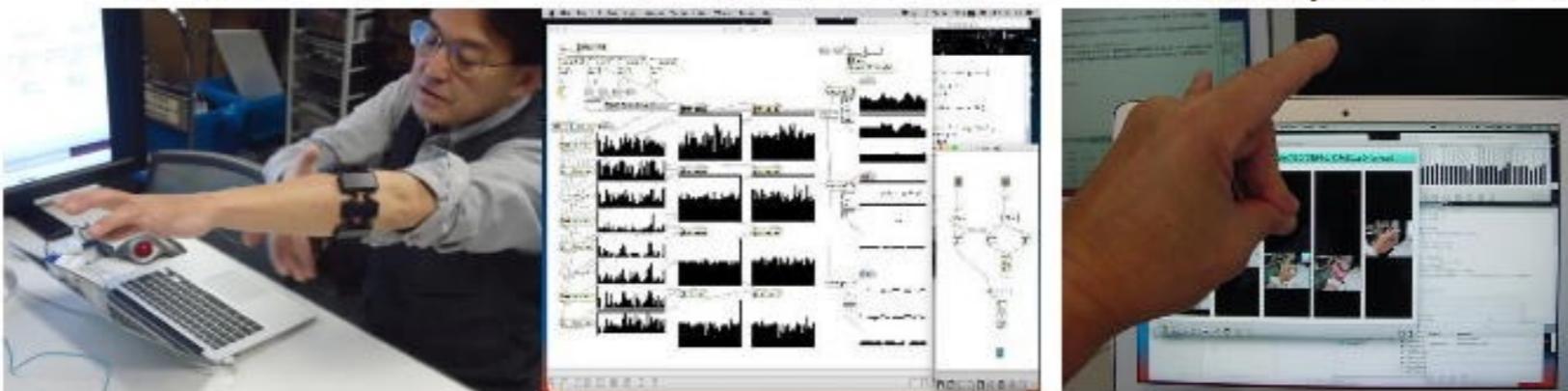


今後の実験システム案

次世代バイオフィードバック療法システムの開発環境を手に入れよう！

第2回リハのためのバイオフィードバック療法セミナー

マルチメディアアートツールMAXを用いた バイオフィードバックシステムの開発入門



講師：長嶋 洋一 先生

静岡文化芸術大学教授・作曲家
デザイン学部デザイン学科(ビジュアル・サウンド領域)
大学院デザイン研究科

MAXは、Cycling'74社が開発し音楽、映像、パフォーマンスなどのアート表現に優れたプログラム開発ソフトウェアです。直感的にすぐプログラミングに取り組め、各種の外部センサーをトリガーとしたアート表現が可能な点が、バイオフィードバック療法開発に適しています。本セミナーでは、メディアアートや生体センサーの開発にも精通され、かつ作曲家でもある静岡文化芸術大学教授の長嶋洋一先生をお招きし、筋電図センサーを使ったMAXのアート表現と次世代バイオフィードバック療法システムの開発を体験して頂くことになります。

日 時：2015年10月12日（月）10：00～17：00（受付9:00開始）

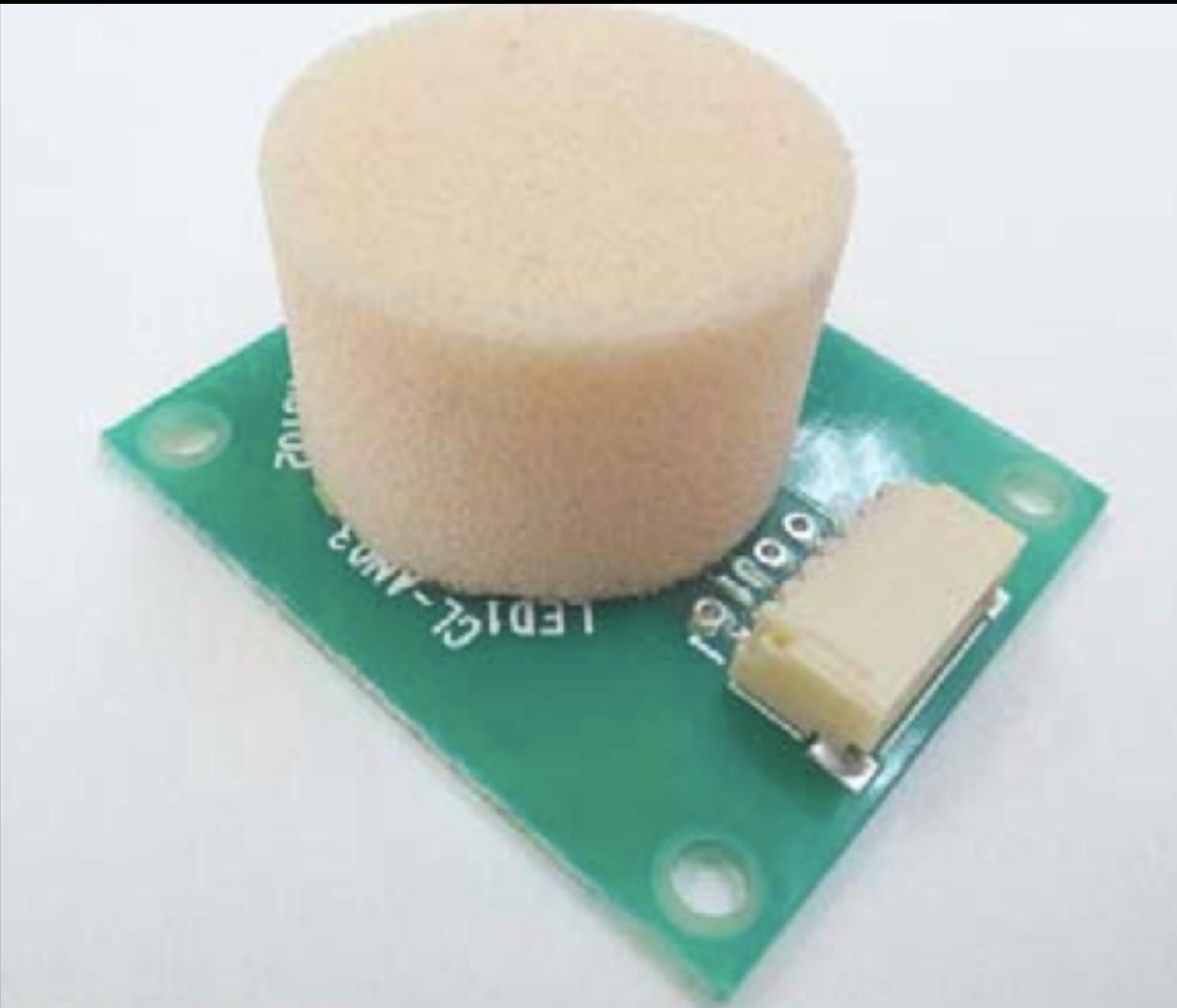
場 所：甲南女子大学 1号館1階・義肢装具実習室

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

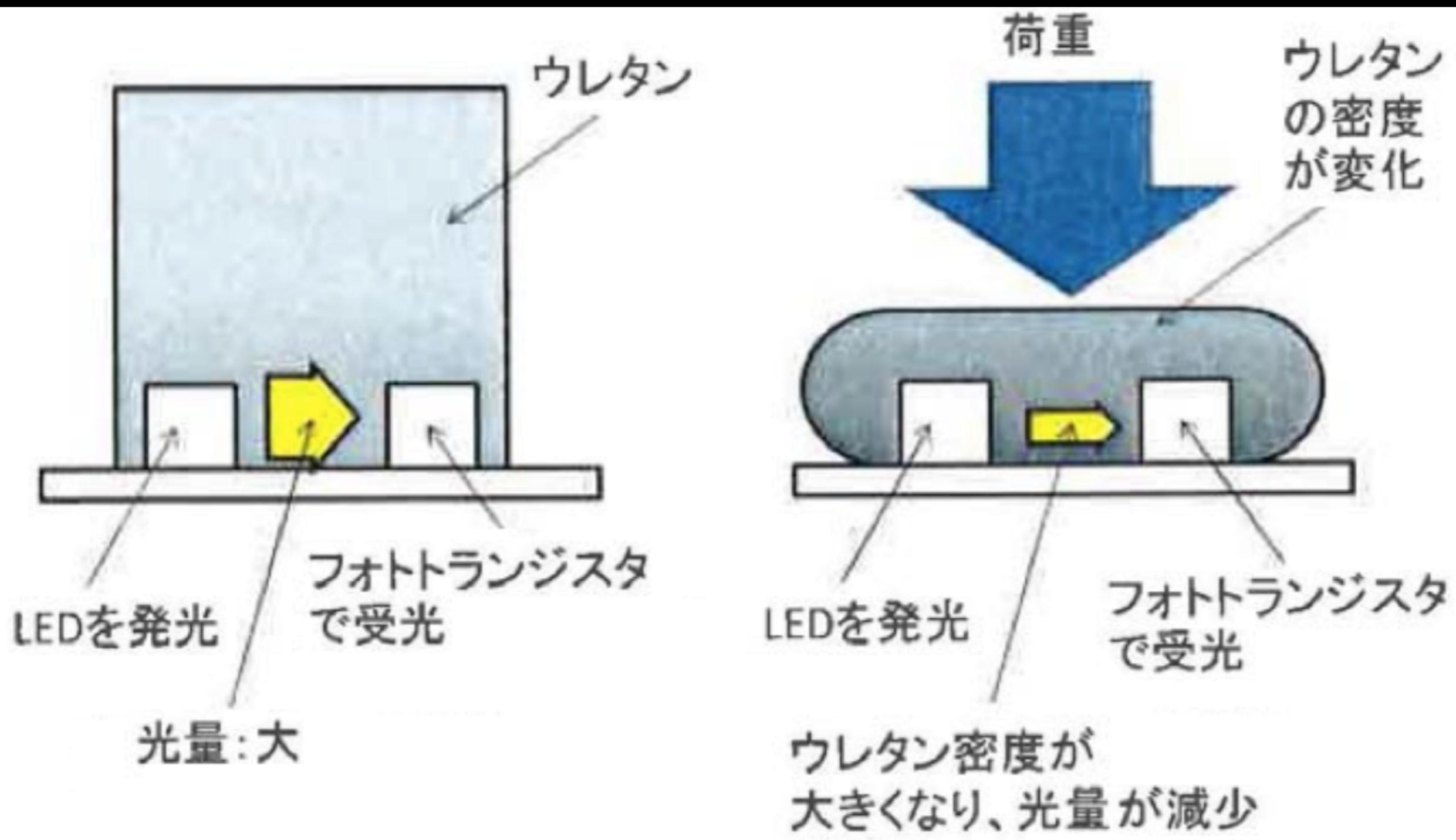
参加費：一般 5,000円（講義資料・体験版MAX・デモソフト付き）

学生 2,000円（講義資料・体験版MAX・学生証提示必須）

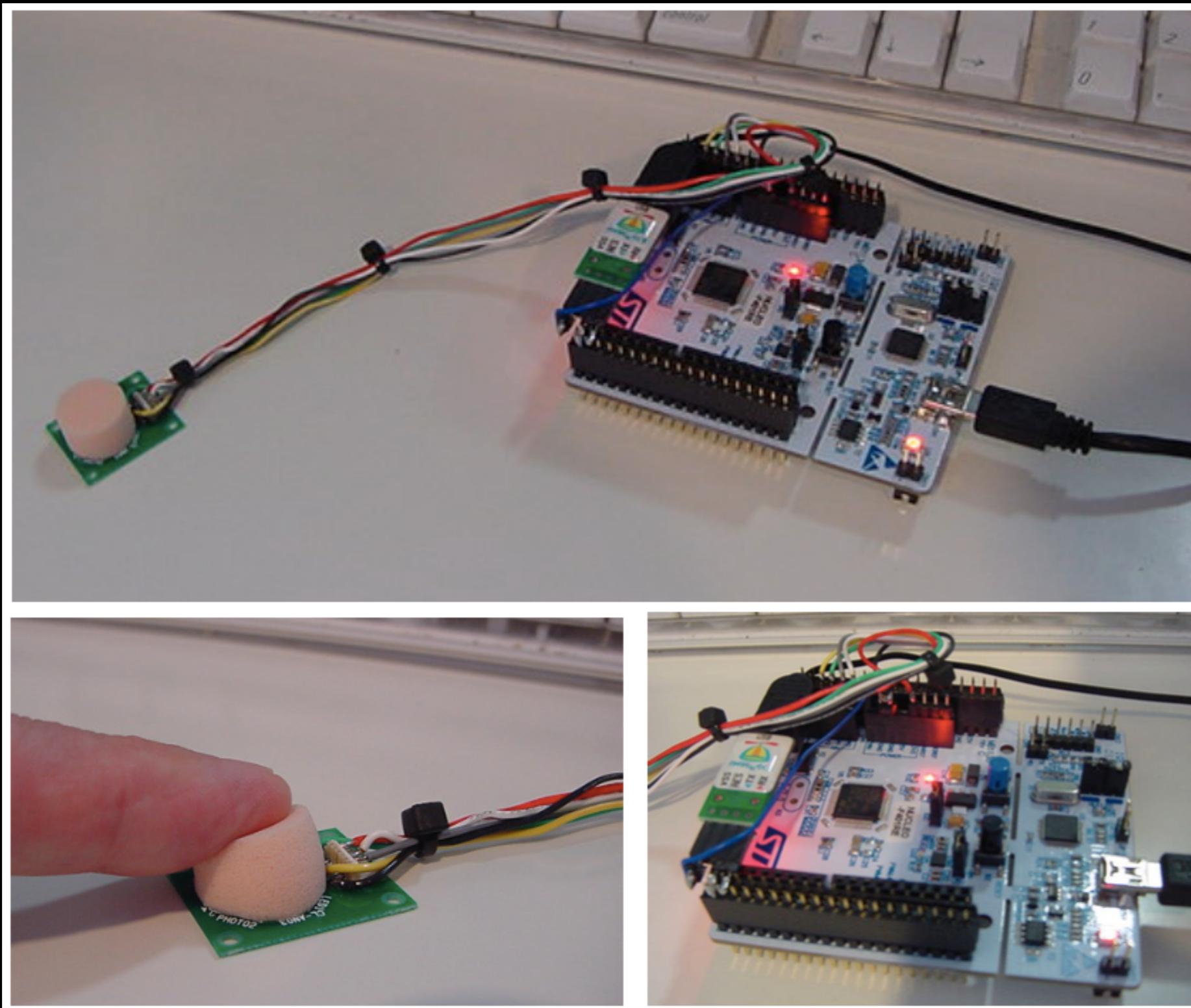
定 員：30名 ※資格に関係なくどなたでも参加可能です



PAWセンサ



PAWセンサの原理



1チャンネルPAWセンサ試作機



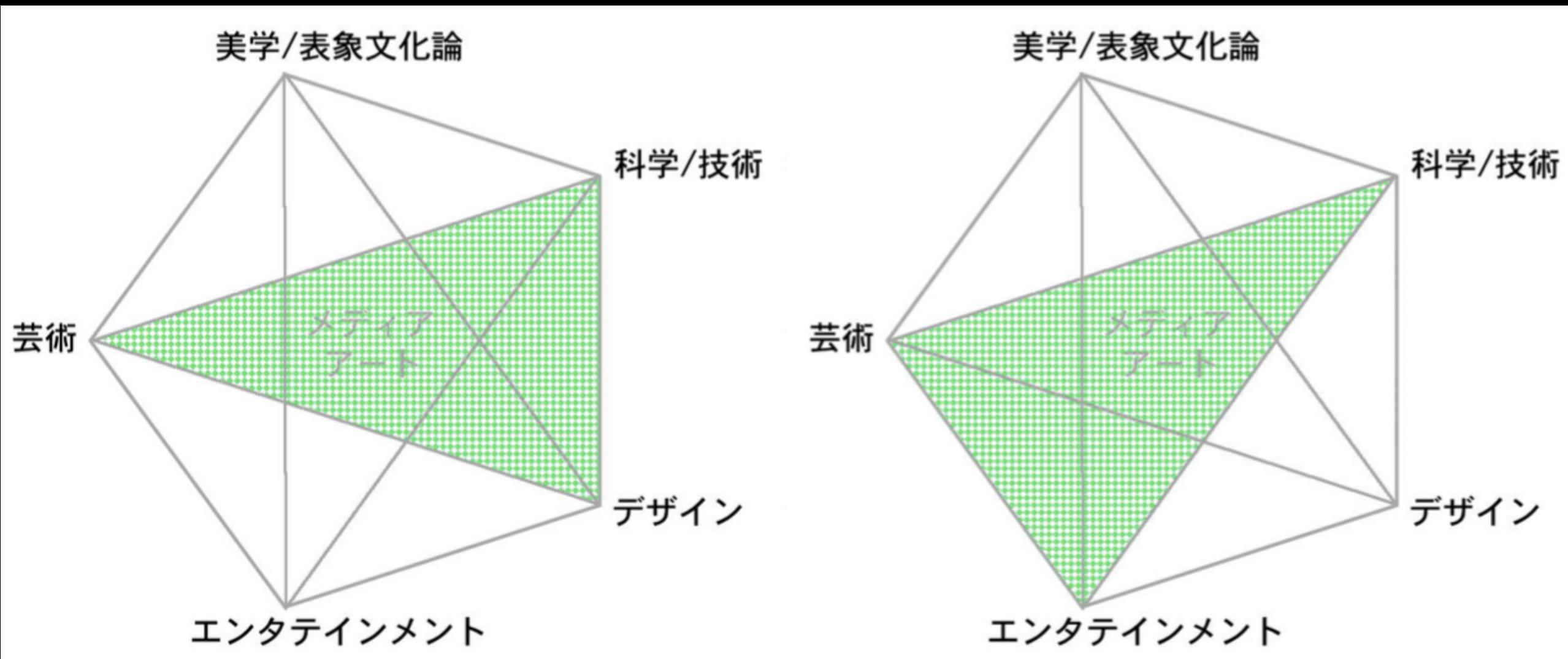
「お触り」 楽器の筐体に決定(^_^\n)



「お触り」 楽器



「お触り」 楽器



「広義のエンタテインメント」
 = 「ウェルビーイング」へ

Well-Being

Affective

Cognitive

Subjective